

2021年10月28日

北九州市が発行するサステナビリティボンドへの投資

～本邦初となる自治体発行のサステナビリティボンドへの投資を通じて地域活性化を後押し～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、福岡県北九州市が発行するサステナビリティボンド¹に投資を行いましたので、お知らせいたします。なお、本債券は、本邦初となる自治体が発行するサステナビリティボンドとなります。

現在、内閣府では持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて、SDGsの理念を取り込むことで政策の全体最適化や地域課題の解決を目指す地方創生取組み(地方創生SDGs)を推進しており、優れた取組みを提案する自治体を「SDGs未来都市」として選定する等、取組みの後押しを行っています。

北九州市は、2018年6月に国内で初めて「SDGs未来都市」に選定されており、持続可能な社会の実現に向けて「北九州市SDGs未来都市計画」を作成する等、積極的な取組みを進めています。

本債券によって調達された資金は、「北九州市SDGs未来都市計画」で掲げるSDGs戦略(ビジョン)達成に向けた取組み(洋上風力発電関連事業、豪雨災害等から市民を守るための防災対策事業、災害廃棄物処理への対応、自然環境の保全、公共施設の更新・改修、子育て・教育環境の整備等)に充当されます。当社は、本債券への投資を通じて持続可能な社会の実現に向けた北九州市の取組みを資金面からサポートします。

今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG投資に積極的に取り組んでいきます。



【案件概要】

(写真提供:北九州市)

発行体	北九州市
発行額	100億円
償還期間	10年
資金使途	「北九州市 SDGs 未来都市計画」で掲げる SDGs 戦略(ビジョン)達成に向けた取組み(洋上風力発電関連事業、豪雨災害等から市民を守るための防災対策事業、災害廃棄物処理への対応、自然環境の保全、公共施設の更新・改修、子育て・教育環境の整備等の事業)に充当

¹ 本債券は、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、国際資本市場協会(ICMA)が公表している「ソーシャルボンド原則 2021」、「サステナビリティボンドガイドライン 2021」、「グリーンボンド原則 2021」と、環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン 2020 年度版」との適合性等について、第三者意見を取得しています。